

# デザイン総合実習Ⅲ(コンテンツデザインコース)

必修 開講年次：3年次後期 科目区分：実習 単位：2単位 講義時間：60時間

■**科目のねらい**：デザイン総合実習Ⅰ、Ⅱを始め、専門教育科目の履修を踏まえ、学生の知識・技術を発展させるため、論理的思考プロセスとそれを具体的な表現に落とし込むプロセスを体験することで、より実践的なデザイン能力を身に付けさせ、併せて卒業研究に向けての準備指導を行う。

■**到達目標**：①ポートフォリオが作成できる。  
②デザイン学に関する研究論文を読んで、内容を他者に伝えることができる。  
③研究の構想・設計・提案の試みができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎石井 雅博・福田 大年

■**授業計画・内容**：

- 第1回 オリエンテーション／ポートフォリオ：制作（1）：構想・設計／アイデアスケッチ
- 第2回 ポートフォリオ：制作（2）
- 第3回 ポートフォリオ：制作（3）
- 第4回 ポートフォリオ：品評会
- 第5回 コンテンツデザイン研究1：論文紹介1（前半）
- 第6回 コンテンツデザイン研究1：論文紹介2（後半）
- 第7回 コンテンツデザイン研究1：研究計画構築1（シーズ探索とアイデア創出）
- 第8回 コンテンツデザイン研究1：研究計画構築2（プレゼンテーションの準備）
- 第9回 コンテンツデザイン研究1：研究計画構築3（プレゼンテーション）
- 第10回 コンテンツデザイン研究2：構想・設計／アイデアスケッチ
- 第11回 コンテンツデザイン研究2：試作（1）
- 第12回 コンテンツデザイン研究2：中間プレゼンテーション
- 第13回 コンテンツデザイン研究2：試作（2）
- 第14回 コンテンツデザイン研究2：試作（3）
- 第15回 コンテンツデザイン研究2：最終プレゼンテーション／リフレクション／まとめ

■**教科書**：なし

■**参考文献**：授業の進行により随時紹介する。また、適宜参考資料を提供する。

■**成績評価基準と方法**：実習への取り組み姿勢（20%）／発表（30%）／課題・作品（50%）によって評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験					
小テスト・授業内レポート					
授業態度			○	積極的な姿勢	20
発表	○	○	○	わかりやすく丁寧な発表を心がけること	30
課題・作品	◎	◎	◎	課題の意図を理解し、実現できていること	50
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：本講義は、デザイン総合実習1、デザイン総合実習2と関連して習得すること。

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：デザイン総合実習の最終段階として、論理的思考と表現能力の高いレベルでの融合を目指し、積極的に受講することを期待します。